

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

会社説明会

会場：札幌証券取引所
5階 会議室



2009(平成21)年9月4日
代表取締役社長執行役員

眞鍋 雅昭



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

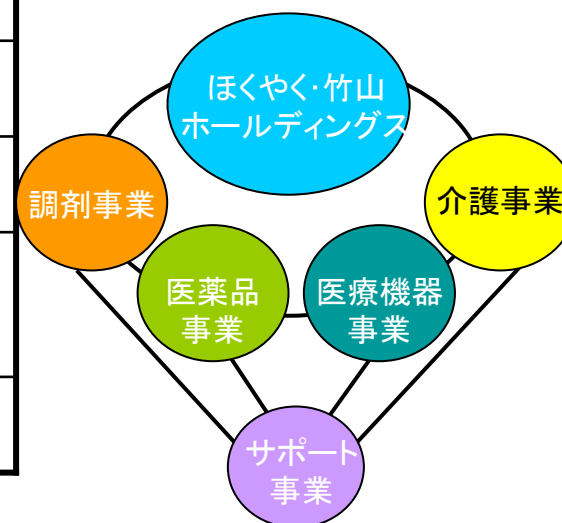


株式会社ほくやく・竹山ホールディングス 会社概要

設立	2006(平成18)年9月
事業内容	医薬品・医療機器の卸売事業を主として行う子会社の株式を保有することによる当該子会社の事業活動の支配・管理等
年商	1,860億円(平成21年3月期、連結)
従業員数(正社員)	単体67名 連結1,203名
資本金	10億円
発行済株式数	25,976,221株(一単元の株式数 500株)
上場取引所	札幌証券取引所 (証券銘柄コード 3055)
決算期	3月31日

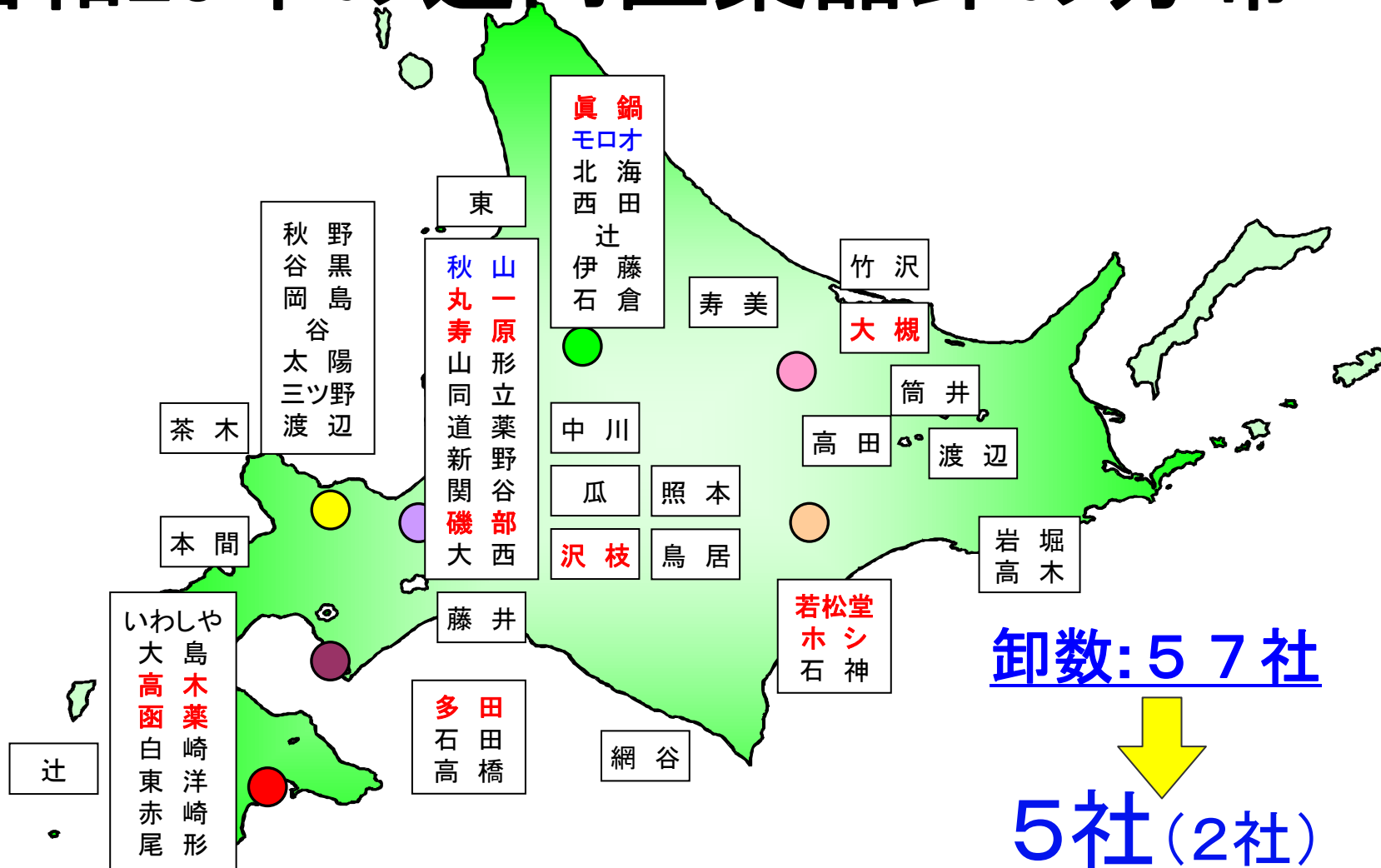


本社:札幌市中央区北11条西
14丁目1-1

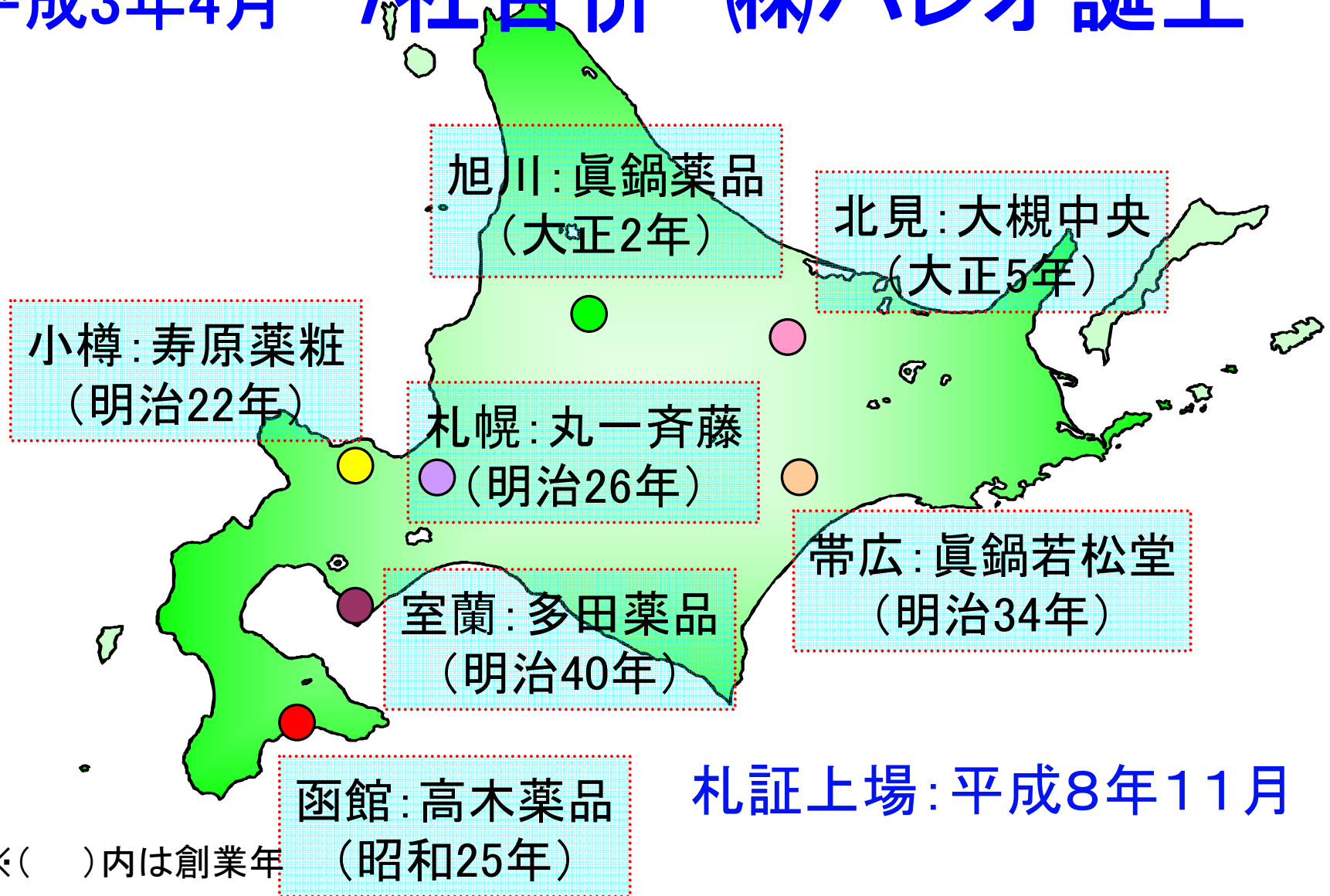


株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

昭和25年の道内医薬品卸の分布



平成3年4月 7社合併 (株)バレオ誕生



札幌証券市場: 平成8年11月



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

会社概要(平成21年3月現在)

資本金	49億6,417万円
決算期	3月31日
年商	単体1,529億円
従業員数	単体338名



**平成11年4月
2社合併 (株)ほくやく誕生**

(株)バレオ →
ホシ伊藤(株)
(創業:大正10年) →

- ほくやくの拠点
(道内18市)
- (医薬営業21支店、1営業所)
- (OTC営業 1支店)
- (センター 4拠点)



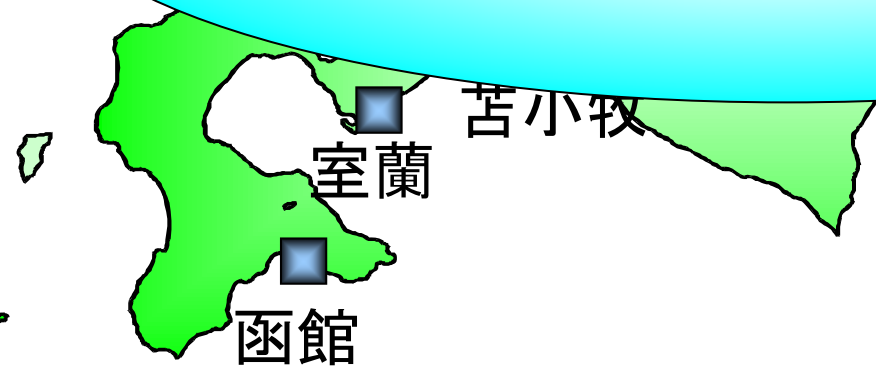
株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

会社概要(平成21年3月現在)

資本金	4,800万円
決算期	3月31日
年商	単体329億円
従業員数	単体351名



(株)竹山
(創業:昭和10年)



- 竹山の拠点
(道内12市)
(道内営業14支店)
(センター 1拠点)
(道外:東京・横浜の2支店)



創業：大正10年

ホシ伊藤(株)

札幌証券市場：平成元年11月

創業：大正2年

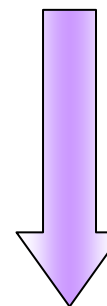
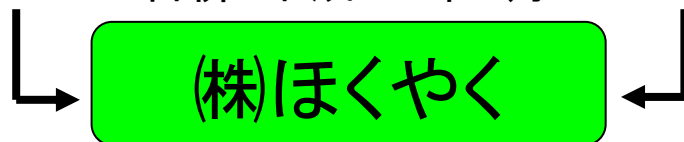
(株)バレオ

札幌証券市場：平成8年11月

創業：昭和10年

(株)竹山

合併：平成11年4月



平成18年9月 (株)ほくやくと(株)竹山による共同持株会社

(株)ほくやく・竹山ホールディングスを設立

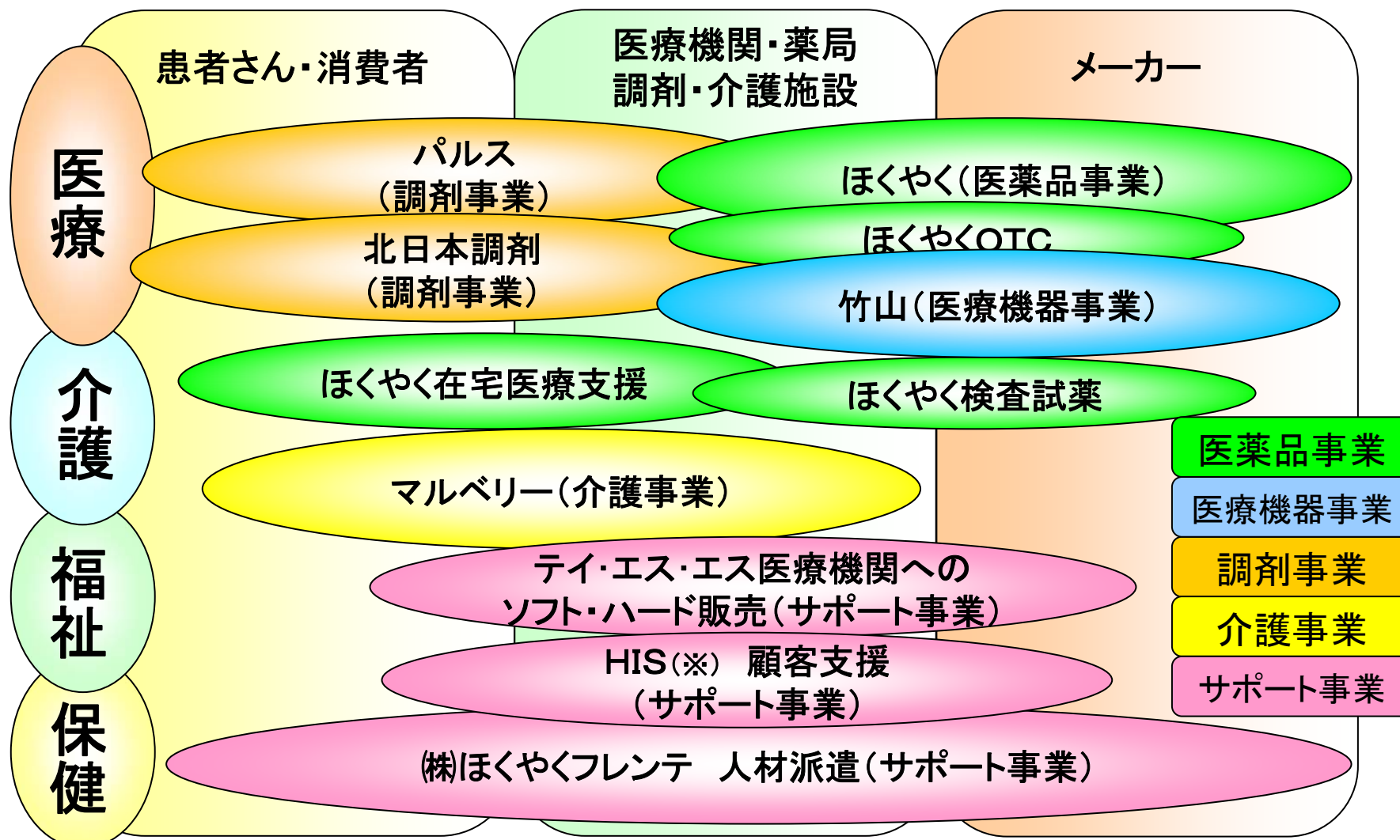
平成18年9月29日札幌証券取引所に上場

北海道生まれのグループ各社が培った
安心と安全への信頼は
 創業年から合計「738年間」に



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

ヘルスケア関連業種の企業集団

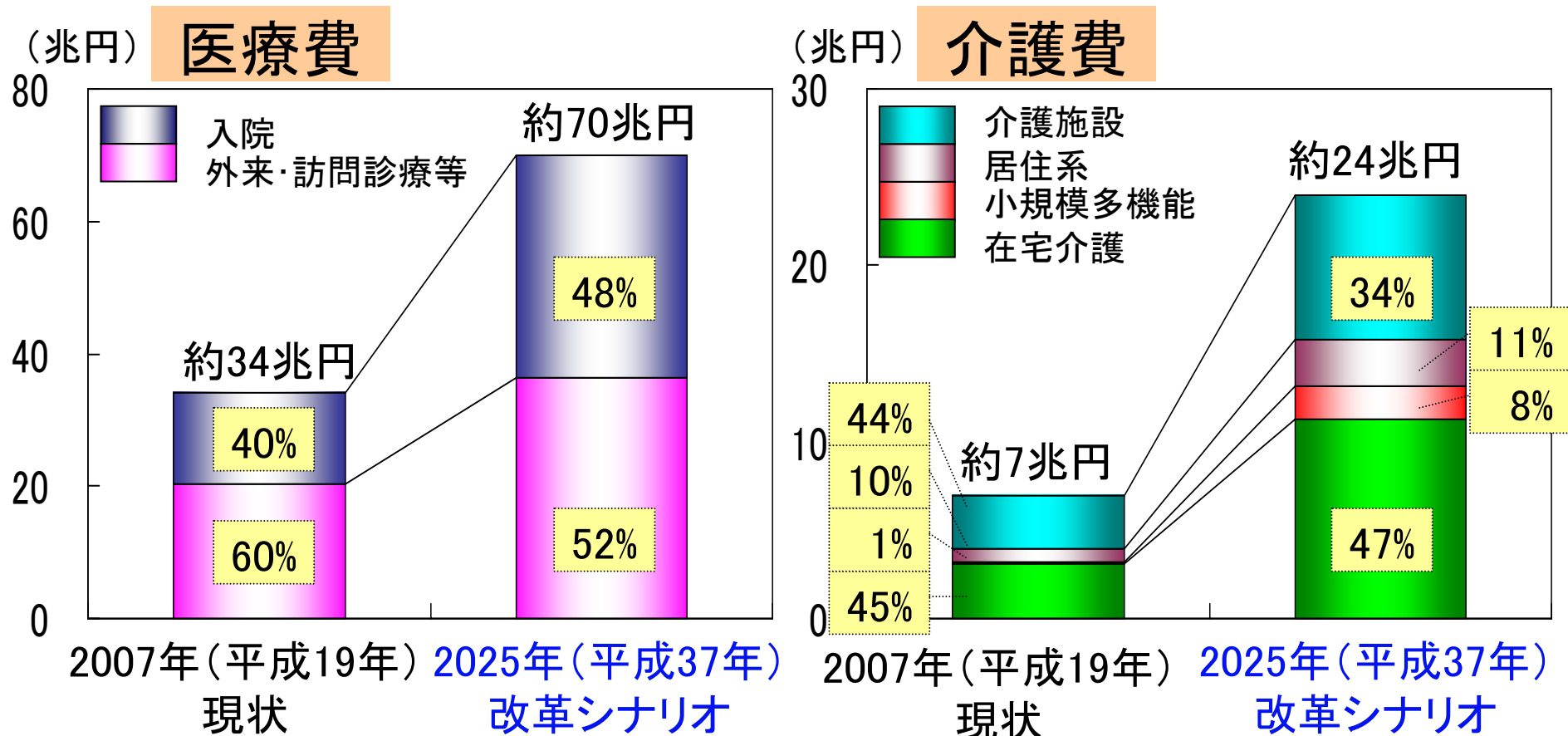


※HIS: 北海道医療情報サービス



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

医療・介護費将来推計



「改革シナリオ」

現在のサービス提供体制について選択と集中等による改革を図ることを想定し、これを改革シナリオシミュレーションとしている。

※社会保障国民会議第二分科会資料より



医療用医薬品市場の変遷

年 代	1965年	1975年	1985年	1995年	2005年	2016年
	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成28年
全国卸数	1003軒	645軒	440軒	305軒	120軒	50軒？
市場規模	0.3兆円	1.6兆円	4.2兆円	6.8兆円	6.5兆円	約8兆円

2016年(平成28年)医療薬市場(※)

- ◆ 減少要因「人口減、医療費抑制」
- ◆ 増加要因「高齢化による患者増」

成長が見込まれる薬剤領域

(糖尿病、痛風・高尿酸血症、がん、リウマチ、骨粗鬆症、過活動膀胱・神経因性膀胱、前立腺肥大症など)

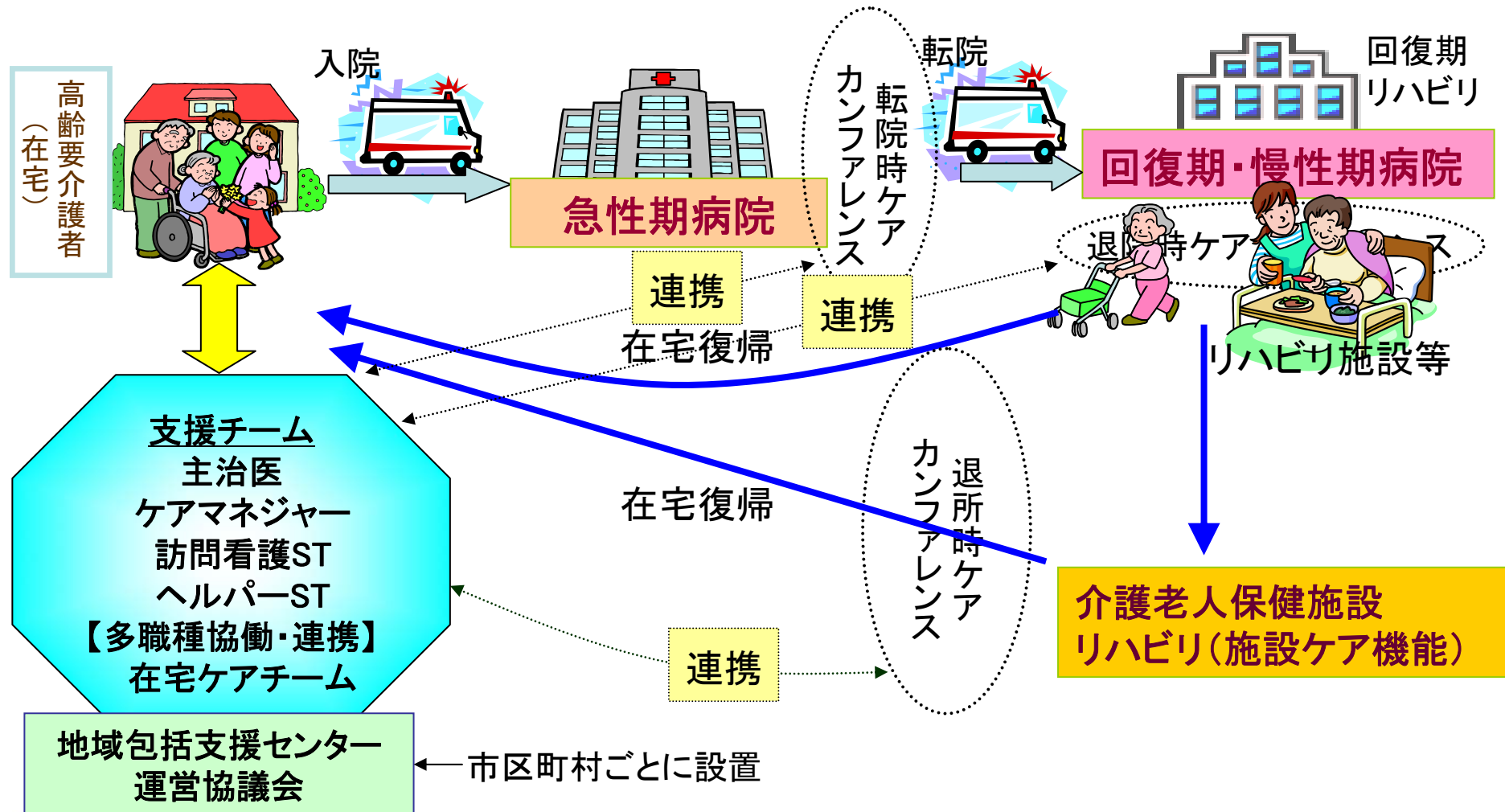
※平成21年9月2日(水) 日刊薬業 富士経済予測より



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

医療の市場環境

在宅の医療、介護提供体制（地域包括ケアのイメージ）



地域医療・介護サービス充実 (地域の姿イメージ)

2025年の姿

身近な地域に多様なサービス

在宅サービス
(訪問介護・訪問看護・通所介護等)

在宅医療



1800人



夜間も対応!

在宅療養支援診療所

看取りケア、個室ケアで
重度の方でも安心

620人
(**倍増**)



施設(特養・老健)

何かあっても
安心!



自宅が一番!

自宅

多様な住まい



在宅サービス

認知症に対応



150人
(**3倍増**)

グループホーム



140人
(**3倍増**)

有料老人ホームなど



施設

通えて、泊まれて、
来てくれて安心



施設



在宅サービス・在宅医療

65歳以上: 15,000人(うち、75歳以上: 9,000人)



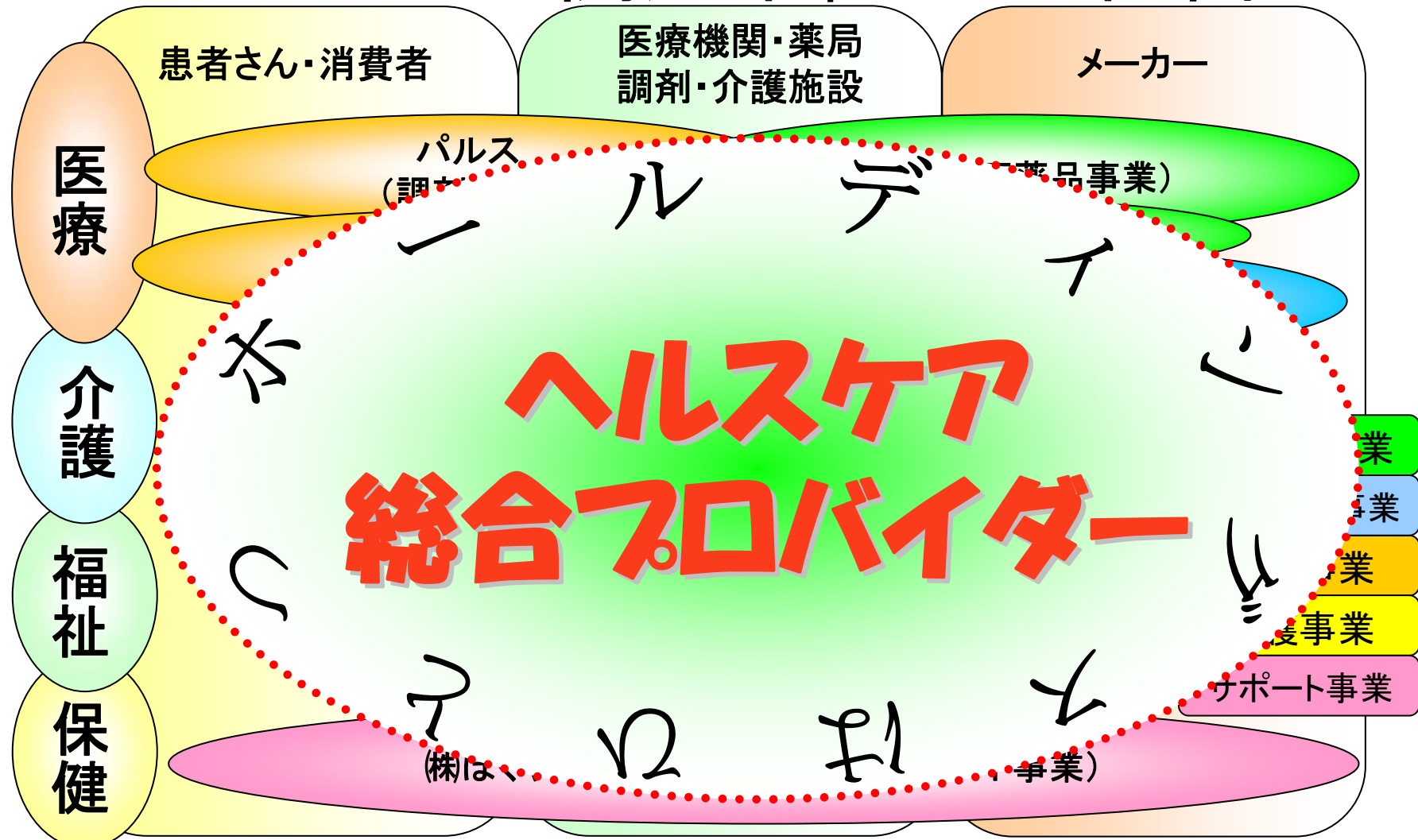
小規模多機能
250人

※社会保障国民会議資料より



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

ヘルスケア関連業種への挑戦

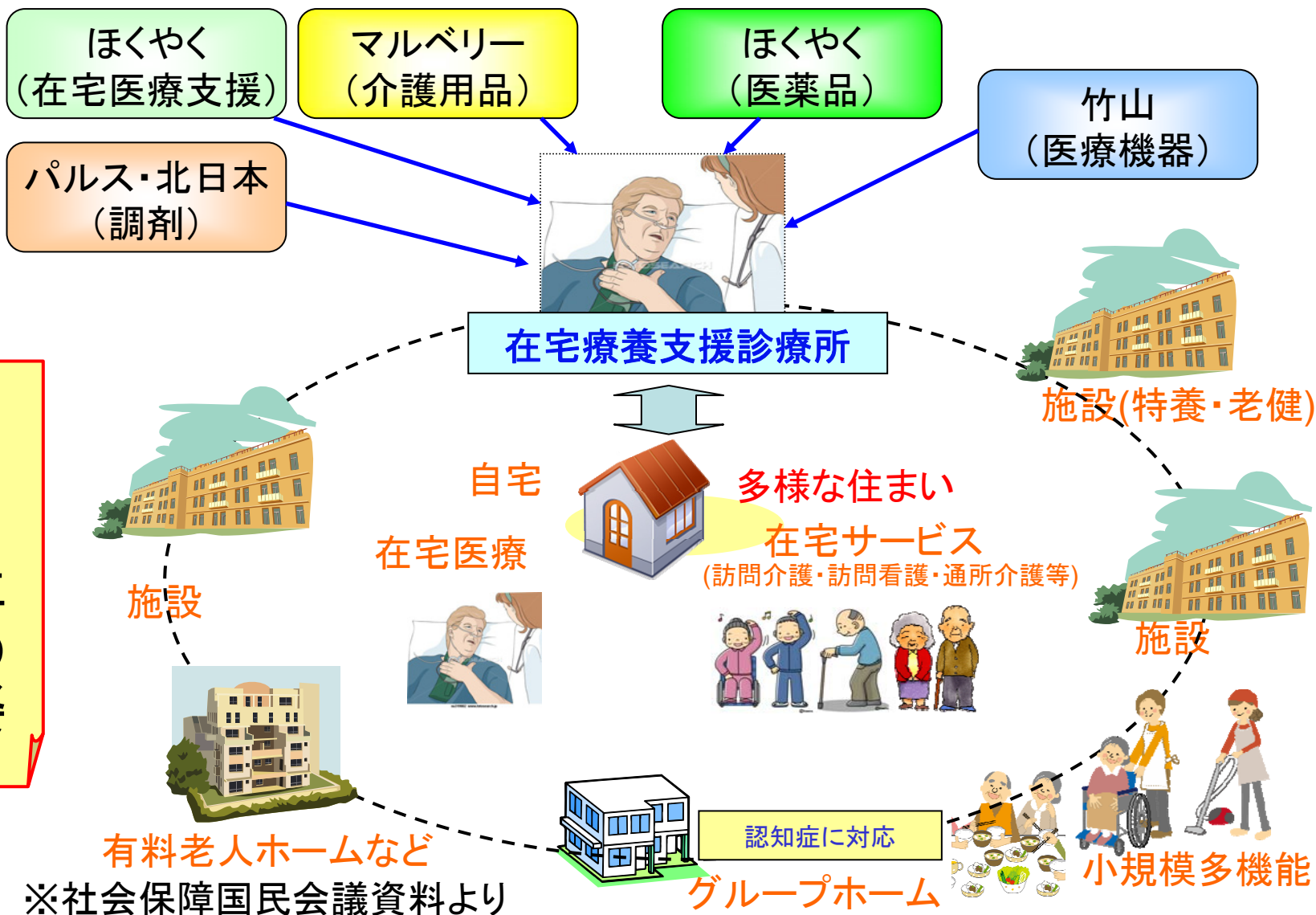


※HIS: 北海道医療情報サービス



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

“ホールディングスはひとつ” ヘルスケア総合プロバイダー



※社会保障国民会議資料より

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

セグメント別の売上状況

(平成21年3月期構成比)



調剤事業 74億円
4.0%



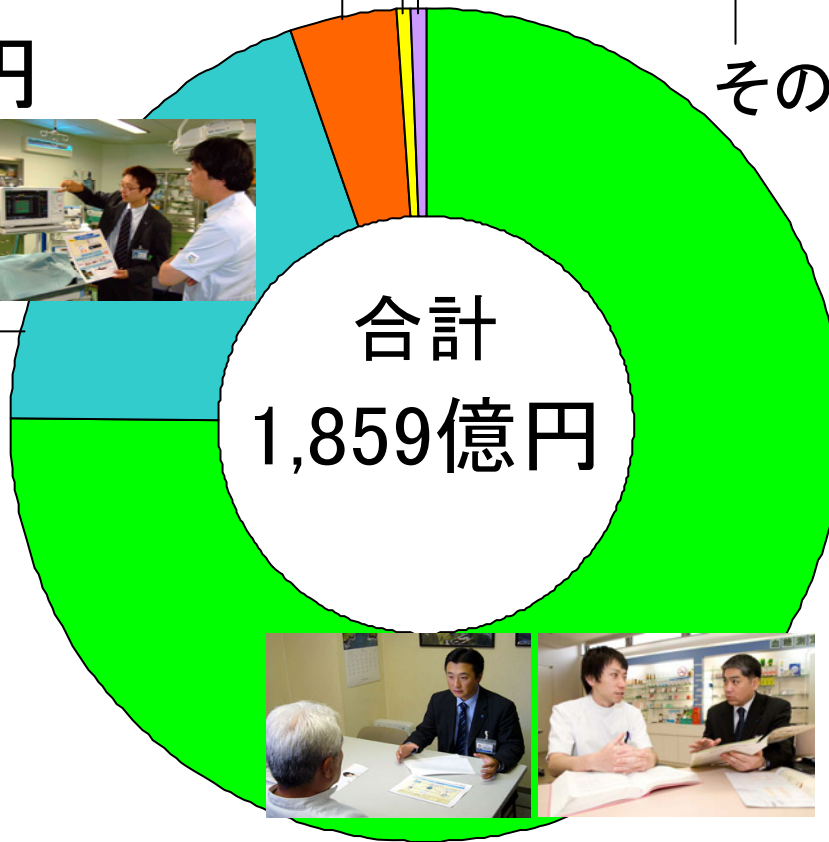
介護事業 13億円
0.7%



その他(サポート3事業)
10億円
0.5%



医療機器事業
361億円
19.4%



医薬品事業
1,402億円
75.4%



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

医薬品

医薬品



ワクチン



一般用
医薬品



消毒薬



その他



検査薬等



衛生材料



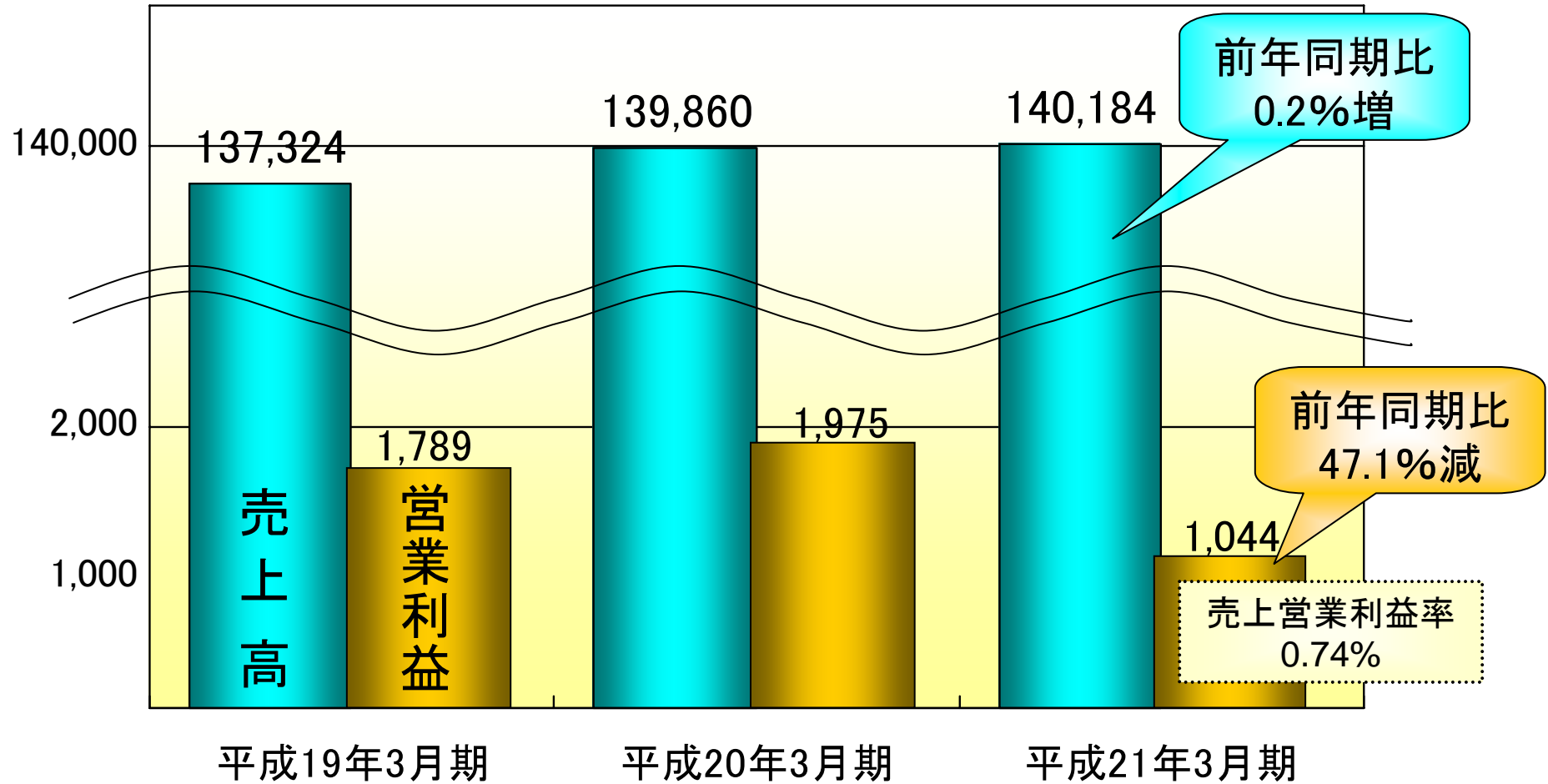
株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

セグメント別

売上高・営業利益の推移

(百万円)

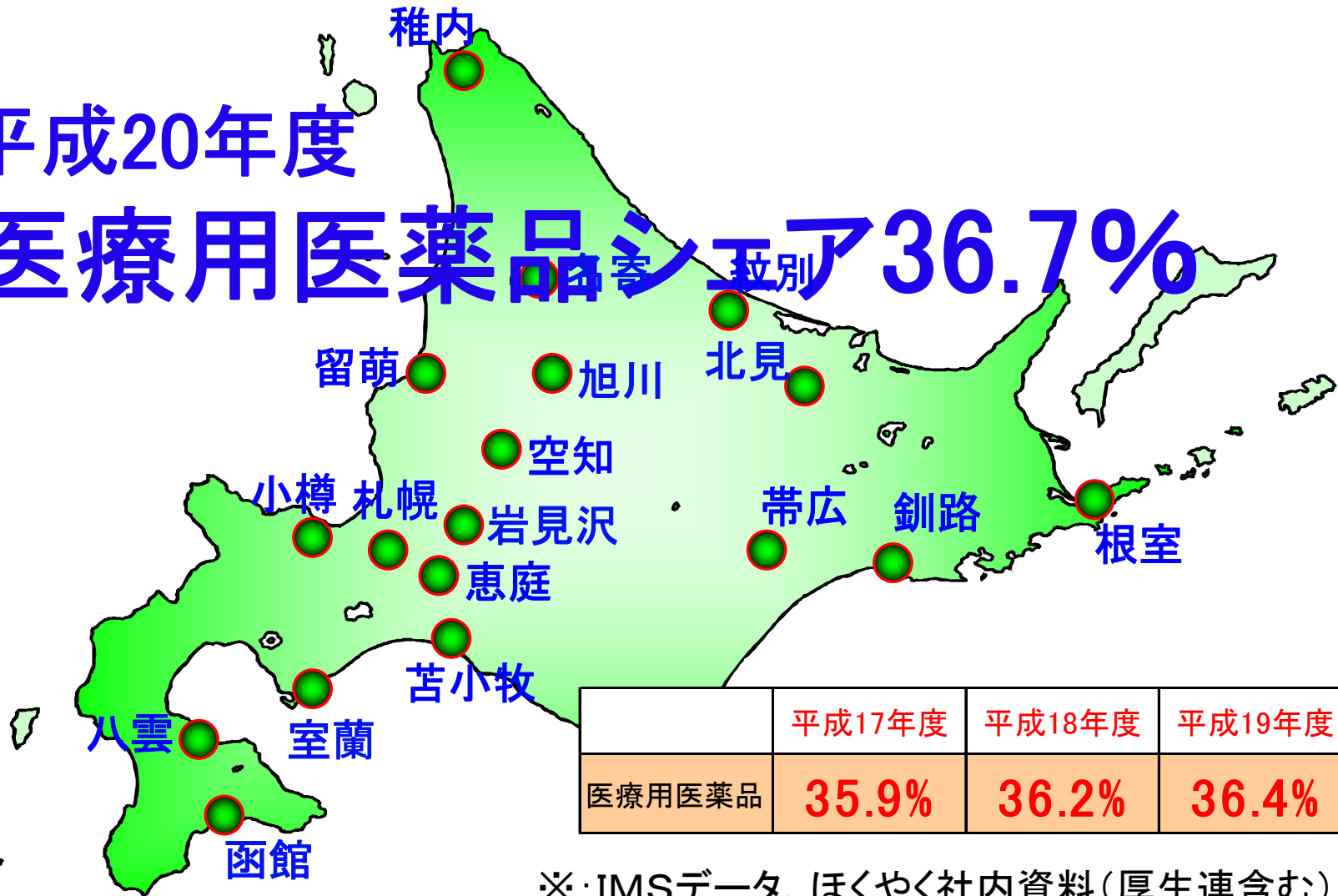
医薬品



(株)ほくやくの拠点を、北海道市場シェア

平成20年度

医療用医薬品 **36.7%**



※:IMSデータ、ほくやく社内資料(厚生連含む)

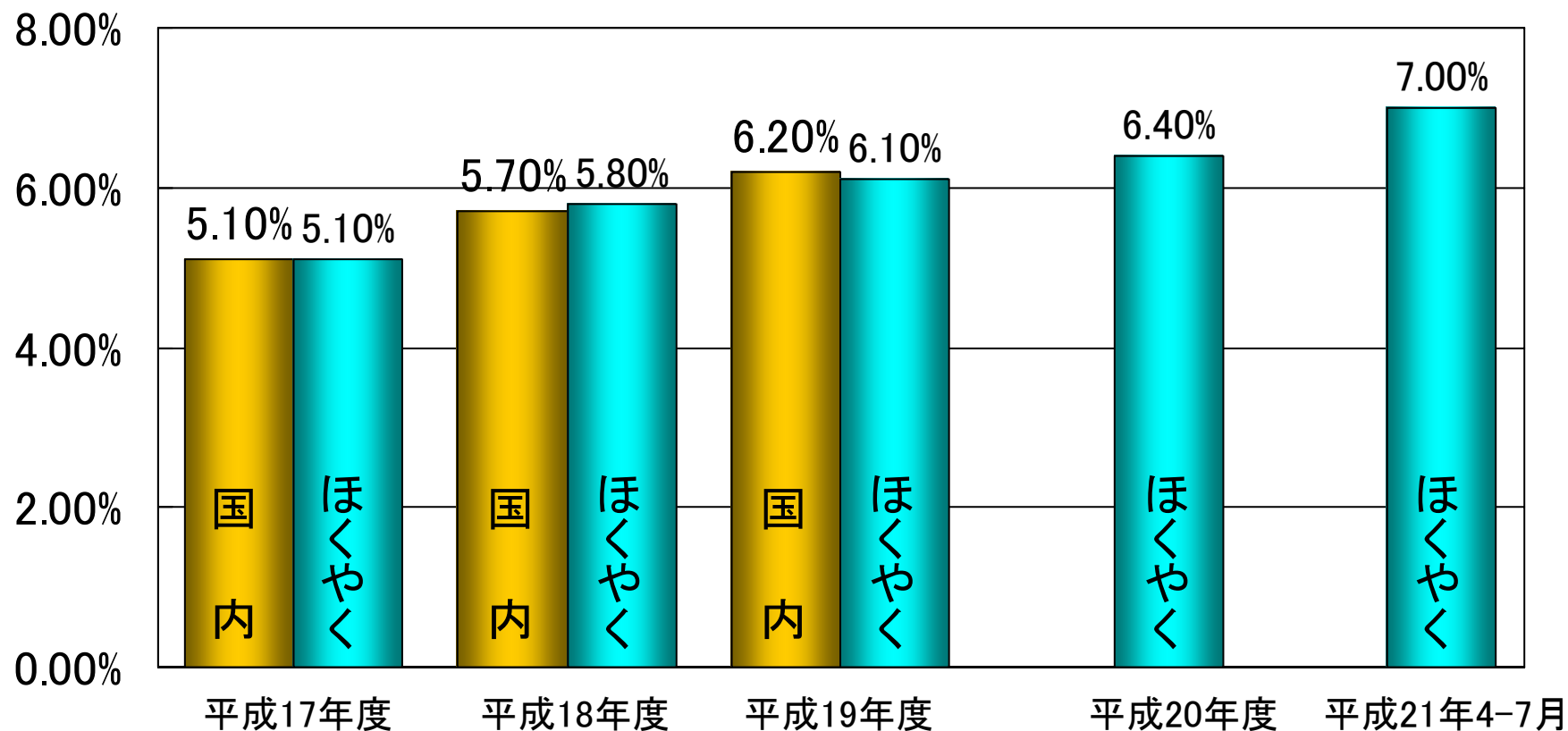
株式会社ほくやく・竹山ホールディングス



ジェネリック医薬品の推移

社内と業界の全売上に占めるジェネリック医薬品比

◆ジェネリック医薬品の使用促進(金額ベース 月平均)



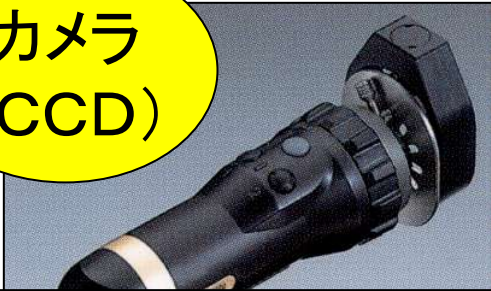
※国内数値は日本ジェネリック製薬協会2007年度調査データより

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス



医療機器

カメラ
(CCD)



心電計



人工関節



注射器



電子
内視鏡



パルスオキシ
メーター



CT
システム

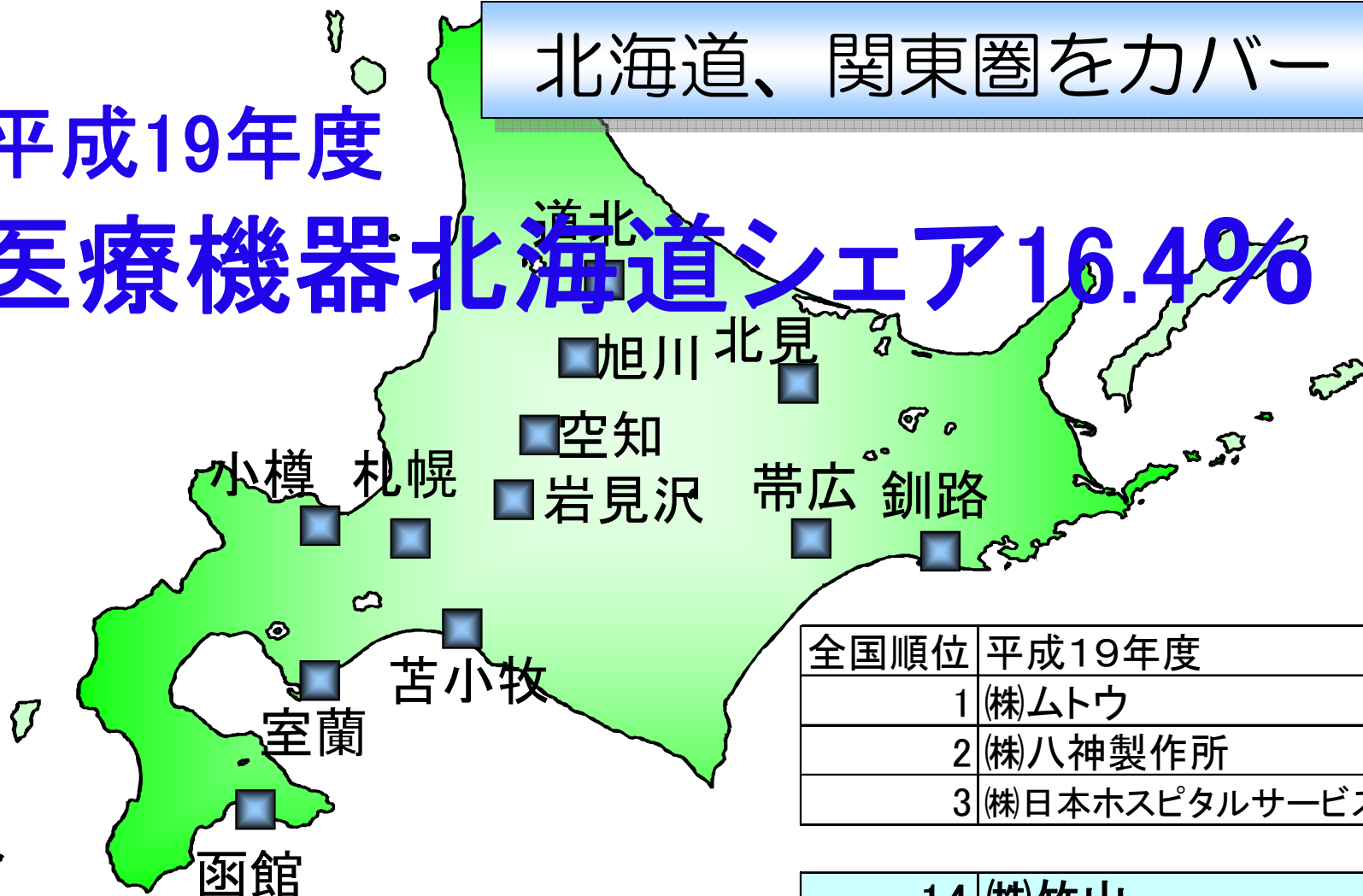


(株)竹山 拠点、エリア網・シェア

北海道、関東圏をカバー

平成19年度

医療機器北海道シェア16.4%



全国順位	平成19年度
1	(株)ムトウ
2	(株)八神製作所
3	(株)日本ホスピタルサービス

14 (株)竹山

※アールアンドディデータより

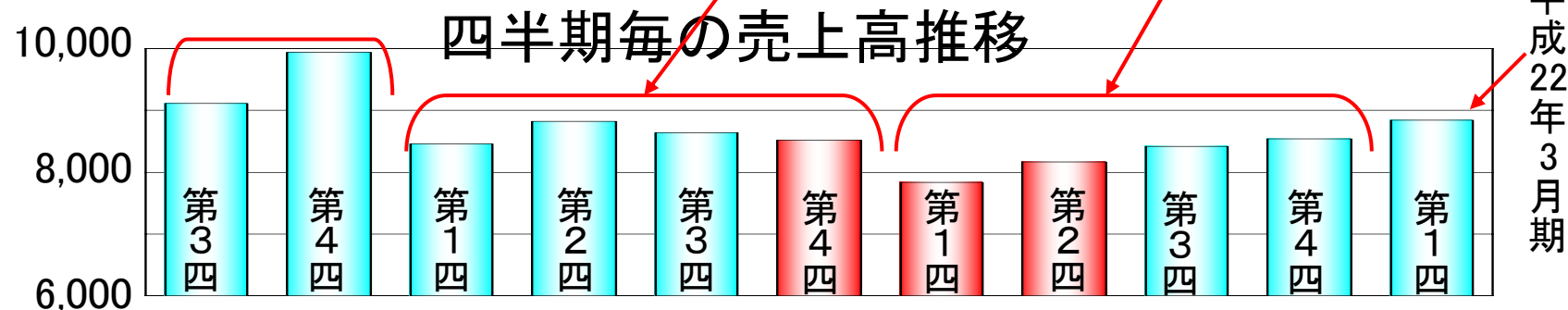
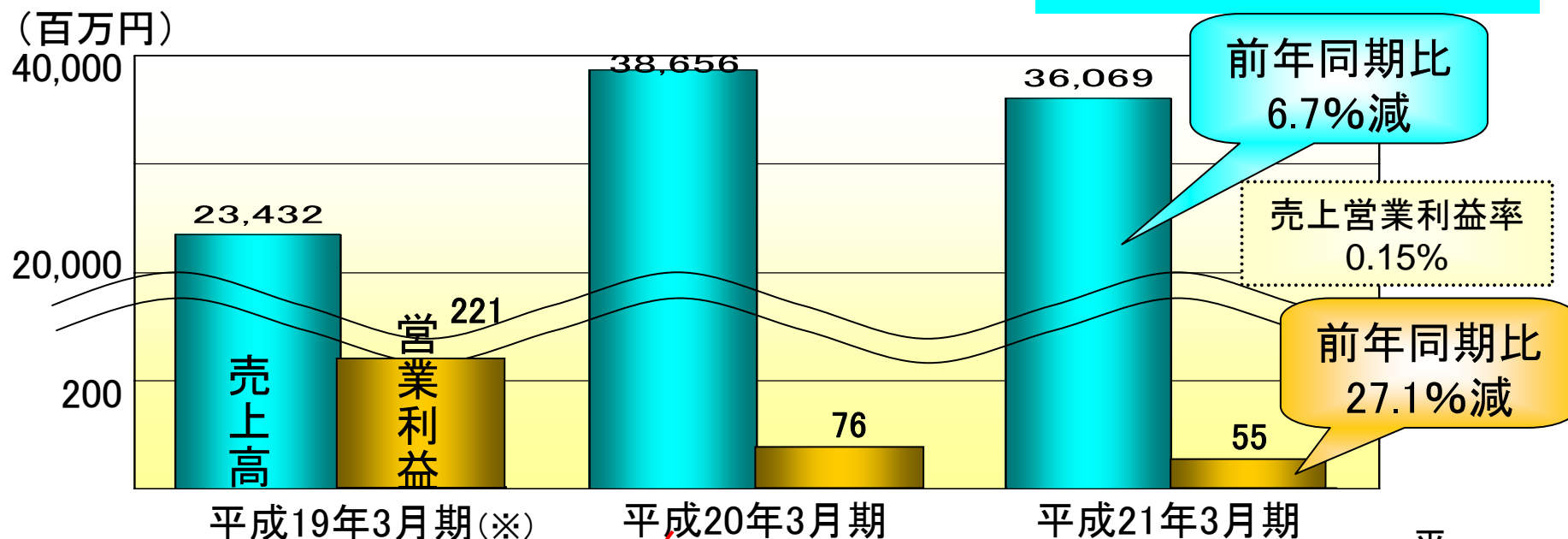


株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

セグメント別

売上高・営業利益の推移

医療機器



※平成19年3月期は、平成18年10月～平成19年3月間の変則決算

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス



調剤事業 (株)パルス、北日本調剤(株)



さわやかショップ
介護用品販売
(札幌市)



アラメントショップ
栄養管理
(札幌市)



調剤薬局
パルス薬局・北日本調剤
(道内 25店舗)



(株)パルス <http://www.pals-pharmacy.com/>

北日本調剤(株) <http://www.kitanihon-p.co.jp/>



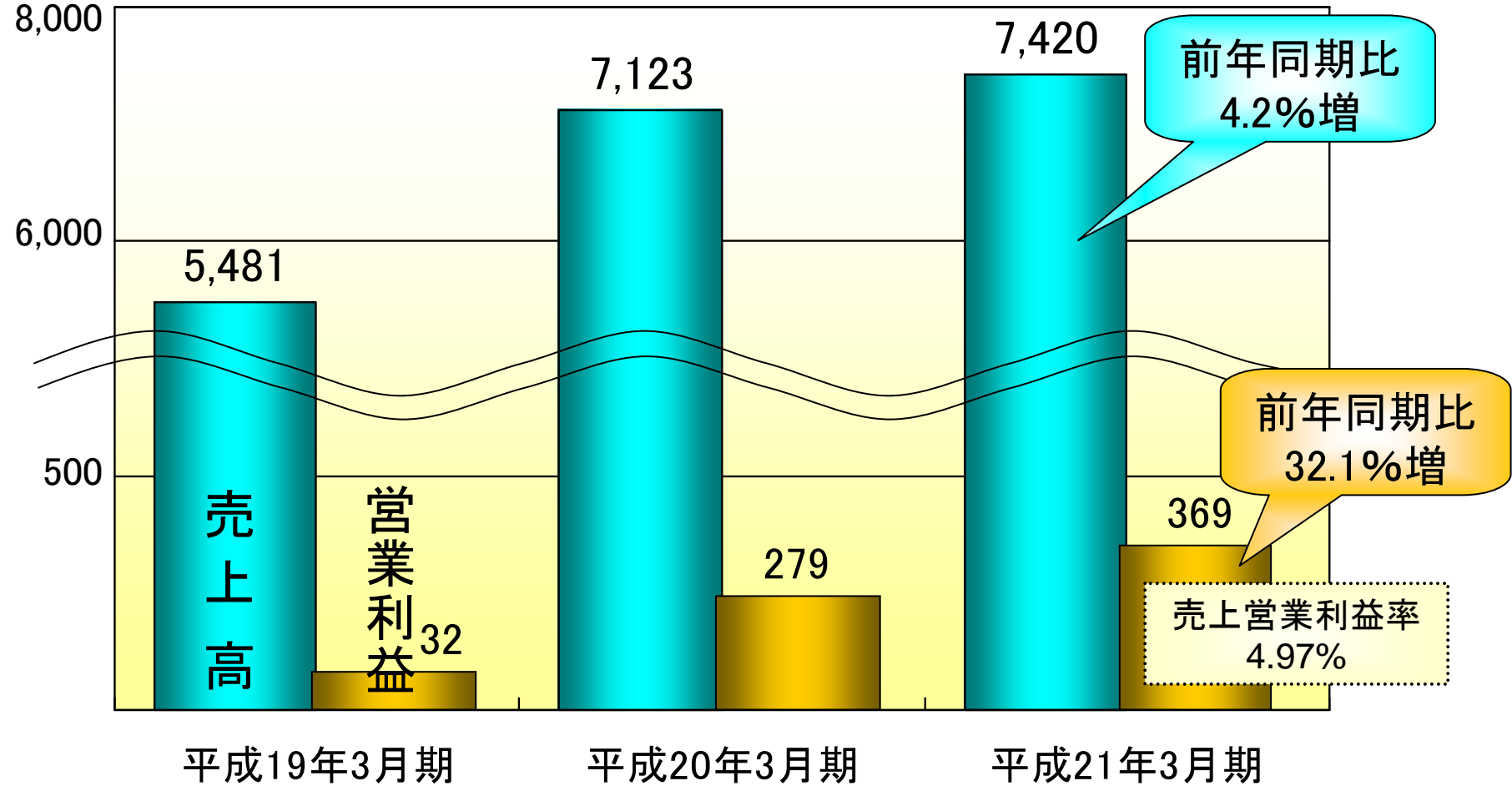
株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

セグメント別

売上高・営業利益の推移

調剤事業

(百万円)



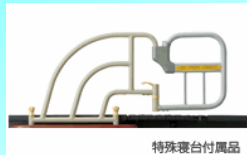
介護事業 (株)マルベリー

福祉用具サービス

・道内7箇所のさわやかセンターが用具選びから設置・回収までをサポート



車イス



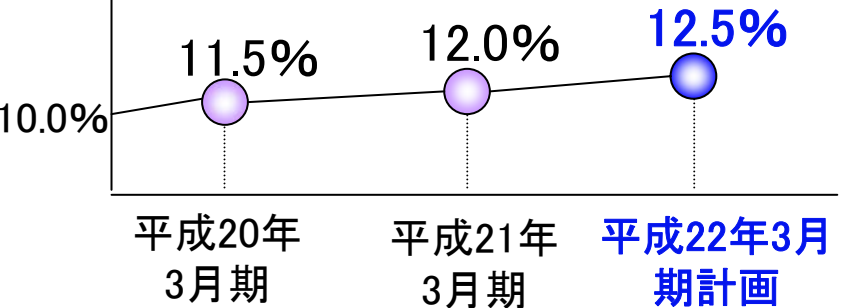
特殊寝台付奥品



住環境サービス



道内福祉用具レンタルシェアNO.1 ※



※(給付金額ベース)



介護サービス



保育・育児サービス

(株)マルベリー <http://www.mulberry-hokkaido.co.jp/>

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

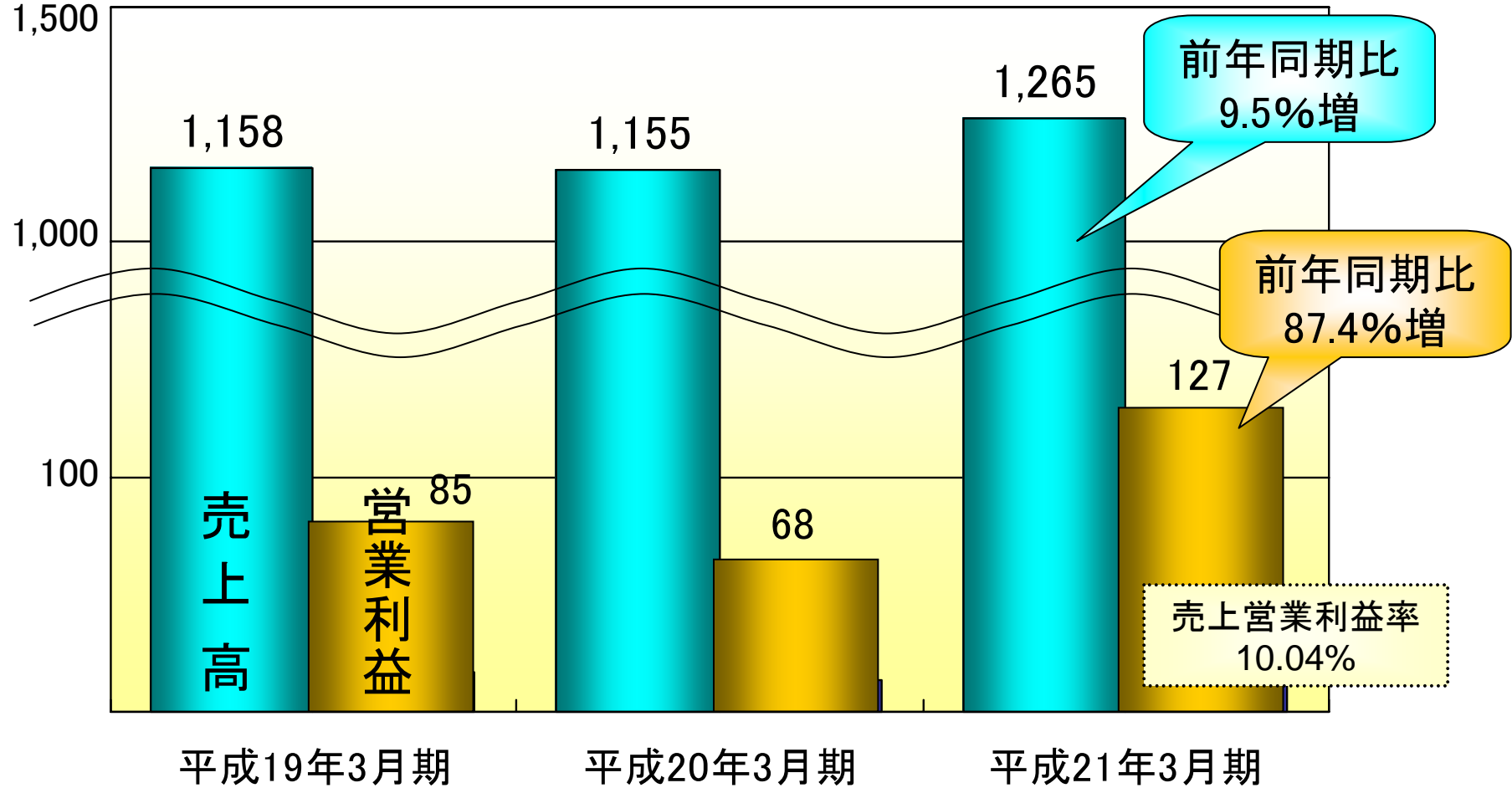


セグメント別

売上高・営業利益の推移

介護事業

(百万円)



業績のご報告と経営方針



平成21年3月期 業績報告「連結」

平成20年4月1日から平成21年3月31日までの実績

科 目	金 額	売上比
売上高	1,860億円	—
販管費	134億円	7.2%
経常利益	18億円	1.0%
当期純利益	10億円	0.6%

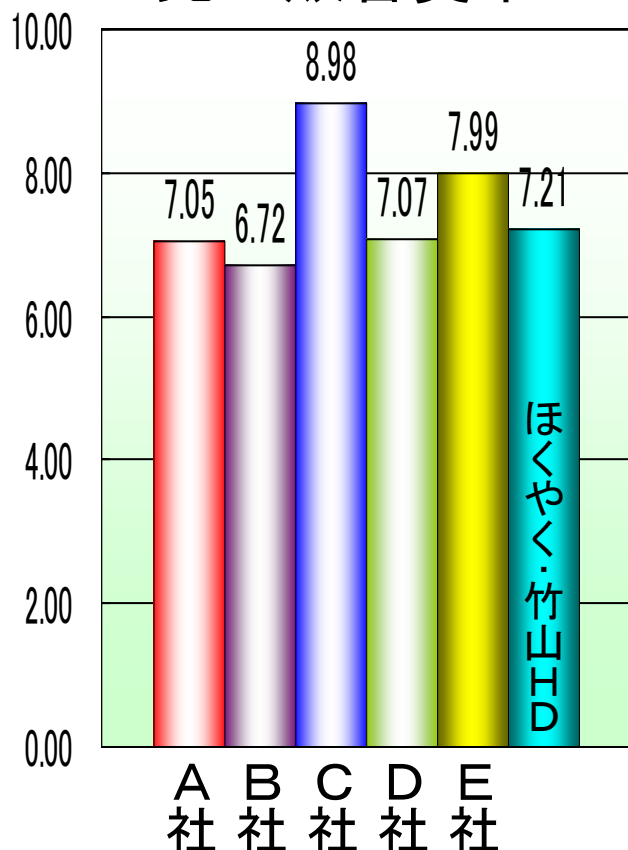
従業員数	1,203名
------	--------



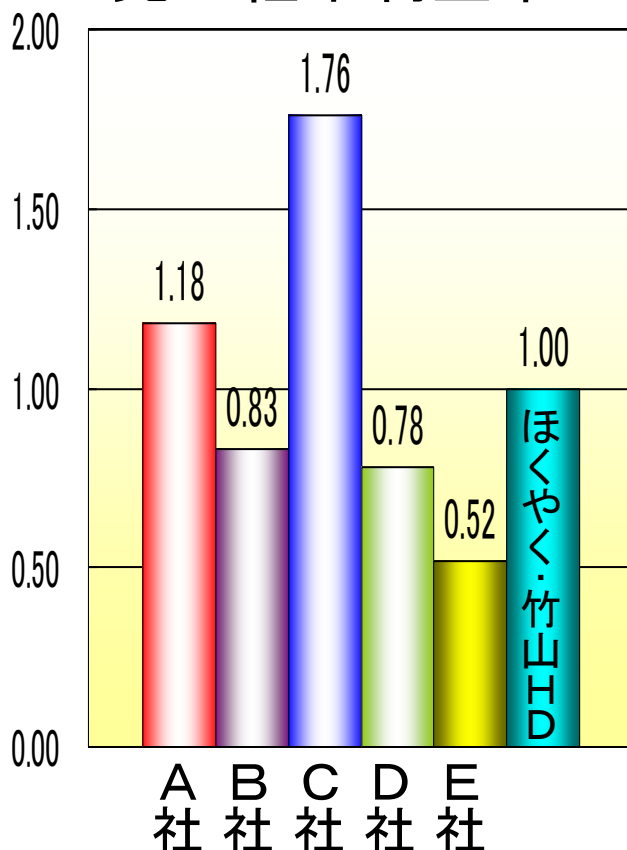
平成21年3月期

医薬品卸 利益比率(連結決算)

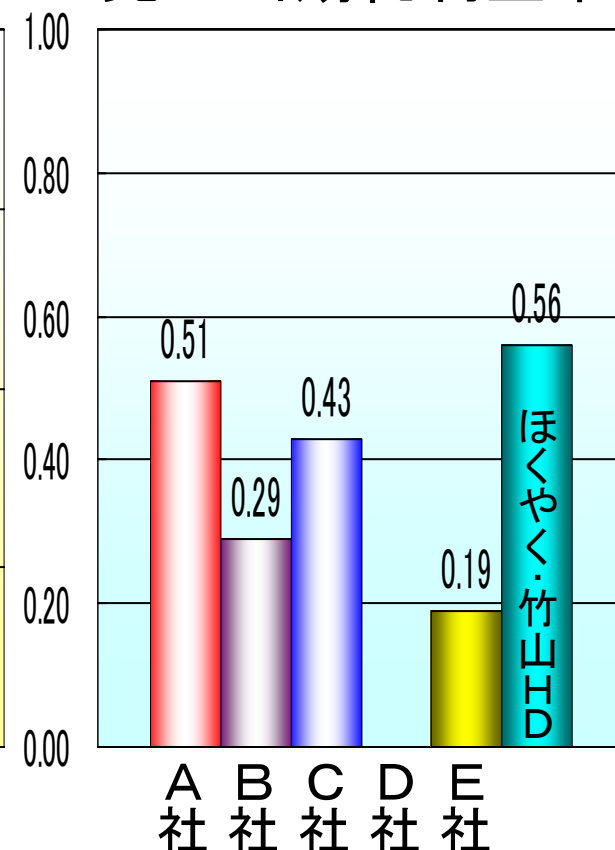
(%) 売上販管費率



(%) 売上経常利益率



(%) 売上当期純利益率



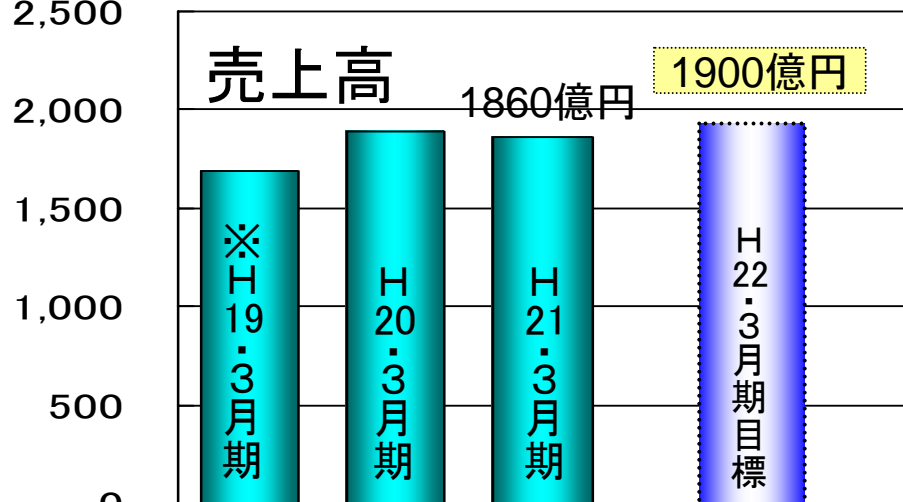
※平成21年5月20日 日刊薬業、各社平成21年3月期 決算短信発表資料より抜粋

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

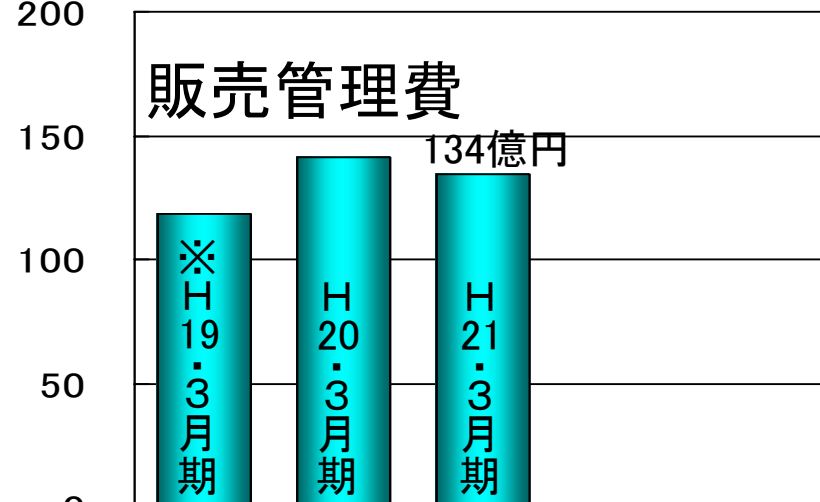


平成21年3月期 業績報告「連結」

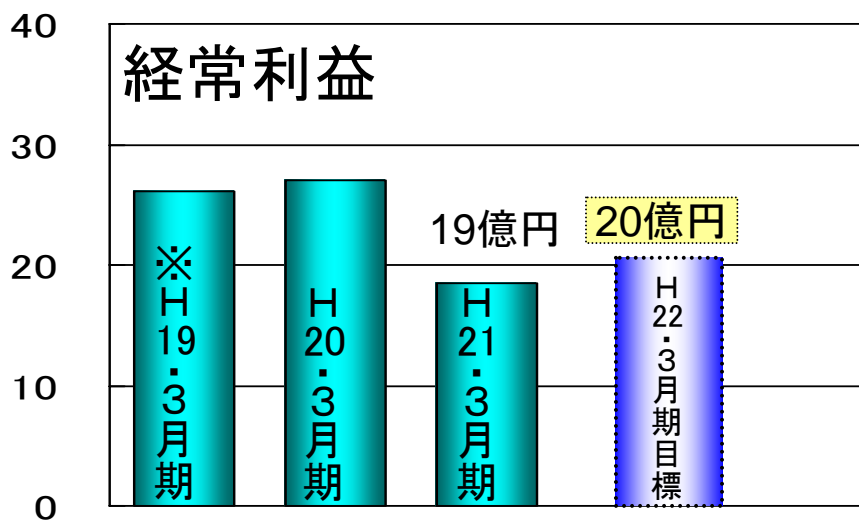
(億円)



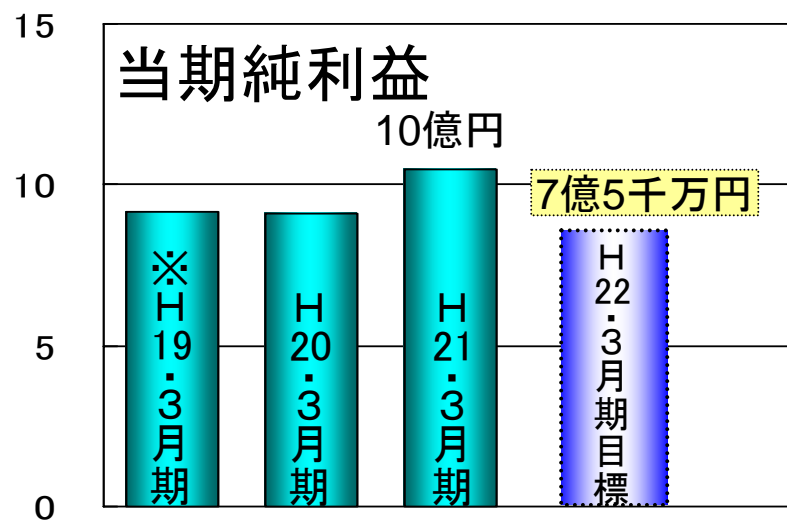
200



40



15

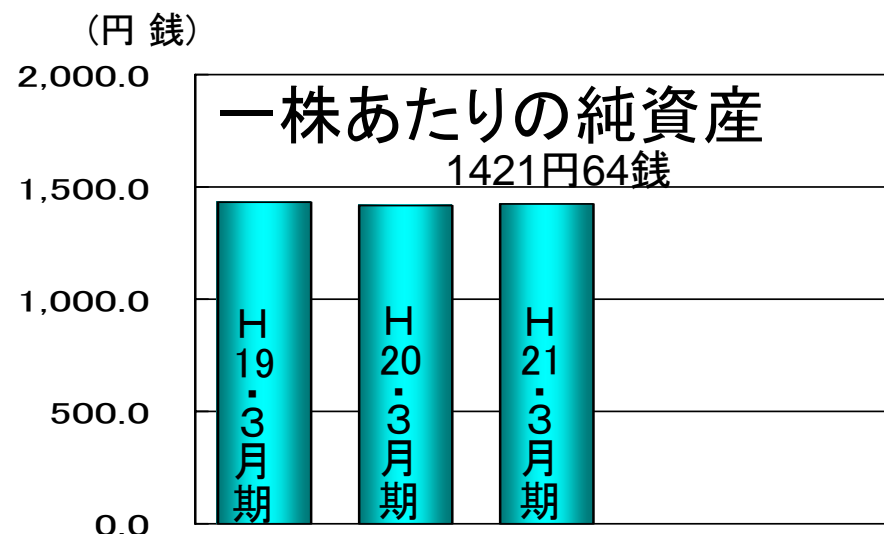
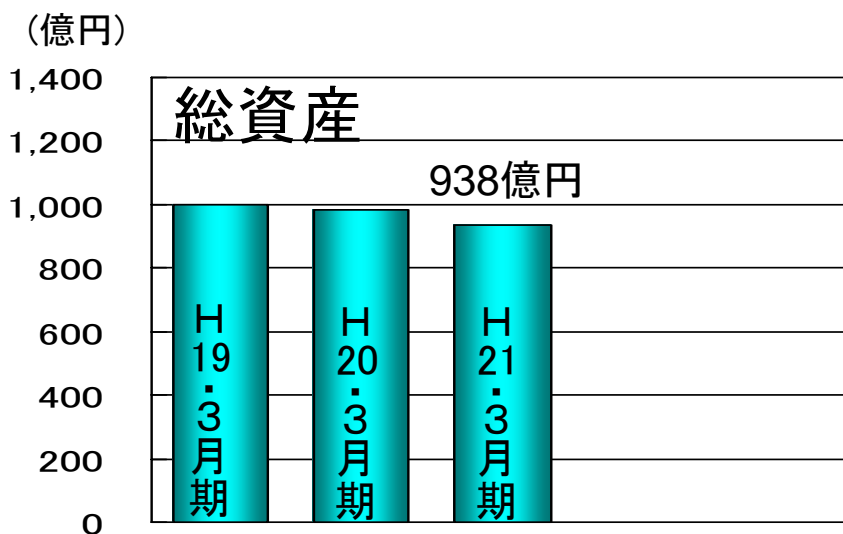
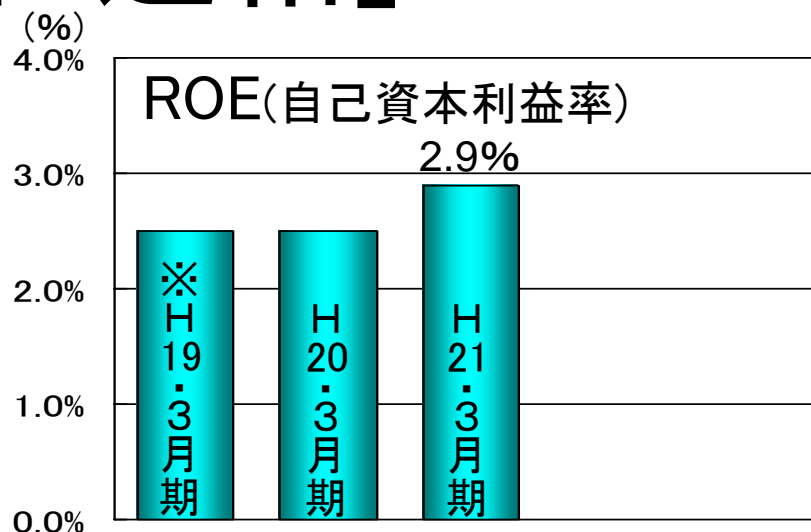
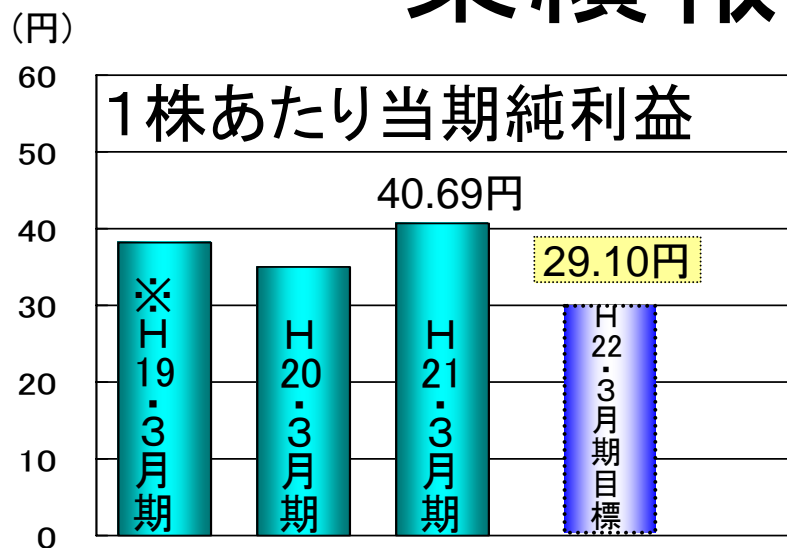


※:H19.3月期は、竹山下期業績のみ含む



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

平成21年3月期 業績報告「連結」



※:H19.3月期は、竹山下期業績のみ含む



▶ 中期経営戦略

中期経営戦略

ホールディングスはひとつ

統合シナジーの実現

業種をこえた

「新たな機能とサービスで」

利便性と効率の提供

「しくみとオペレーション改革で」

グループ全体のコスト効率向上



▶ 中期経営戦略

統合シナジーの実現



新たな機能とサービスで

利便性と効率の提供

地域医療連携をフルカバー

医療・介護施設から在宅まで

(在宅療養支援診療所)

医薬品・医療機器・介護用品・調剤・在宅医療

多角的な営業活動の展開

院内物品管理・情報システム支援

医薬品・医療材料の一括購買

統合シナジーの実現にむけた 支店および拠点の統合

本社統合準備中



平成21年内に統合予定

札幌市内拠点統合準備中



平成22年7月までに統合予定



平成21年10月完成予定



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

➤システム統合と革新

情報システム改革計画

Project NEXUS I

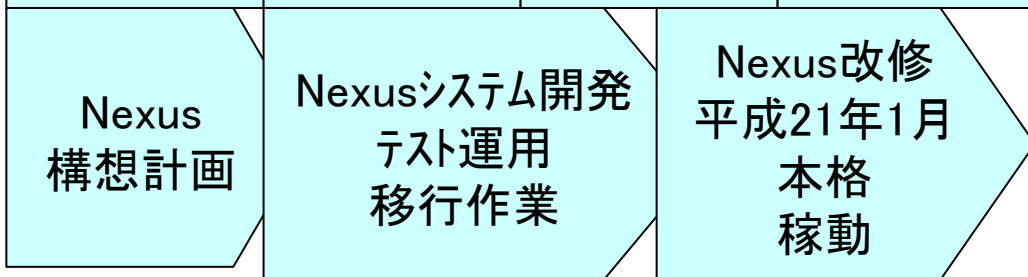
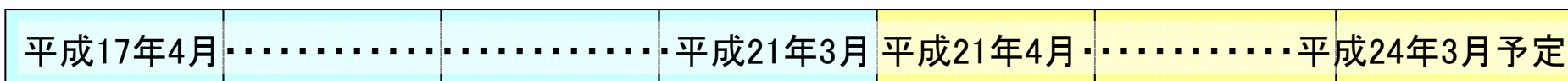
Project NEXUS II

平成21年1月本格稼動

平成21年4月～平成24年3月

- ①システムの安全性と拡張性の確保
- ②業務効率と利便性を実現するシステムのインフラ構築

グループ子会社・孫会社の
システム統合
機能強化、一括集中管理等
システム再構築



3ヶ年で12億円の投資 約100名の動員

※「NEXUS(ネクサス)」: Next Universal System 次世代包括的情報基幹システム



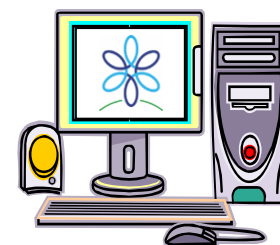
株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

➤ 企業競争力の強化

投資の実績と計画

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
実績	実績	実績	計画	計画
27億円	26億円	11億円	11億円	6億円

- 拠点統合への増改築・設備
- 新基幹システム構築
- その他



▶企業競争力の強化

人財育成 個別企業をこえて



企業間の人事交流

“ホールディングスはひとつ”をめざして

グループ合同研修

コンプライアンス研修

ふれあいマナー研修

コミュニケーション研修

その他



教育プログラムの見直し



▶事業継続への取組み

安定供給への対策

お客様に安全と安心をお届けするために

平成20年9月

新型インフルエンザ対策委員会を設置。

国および道と、薬剤の安定供給に向けて協議検討中。

緊急対応マニュアルを作成し、全支店および拠点に開示して従業員の健康被害を最小限にとどめ、医薬品・医療機器等の安定供給のための事業継続を図る。

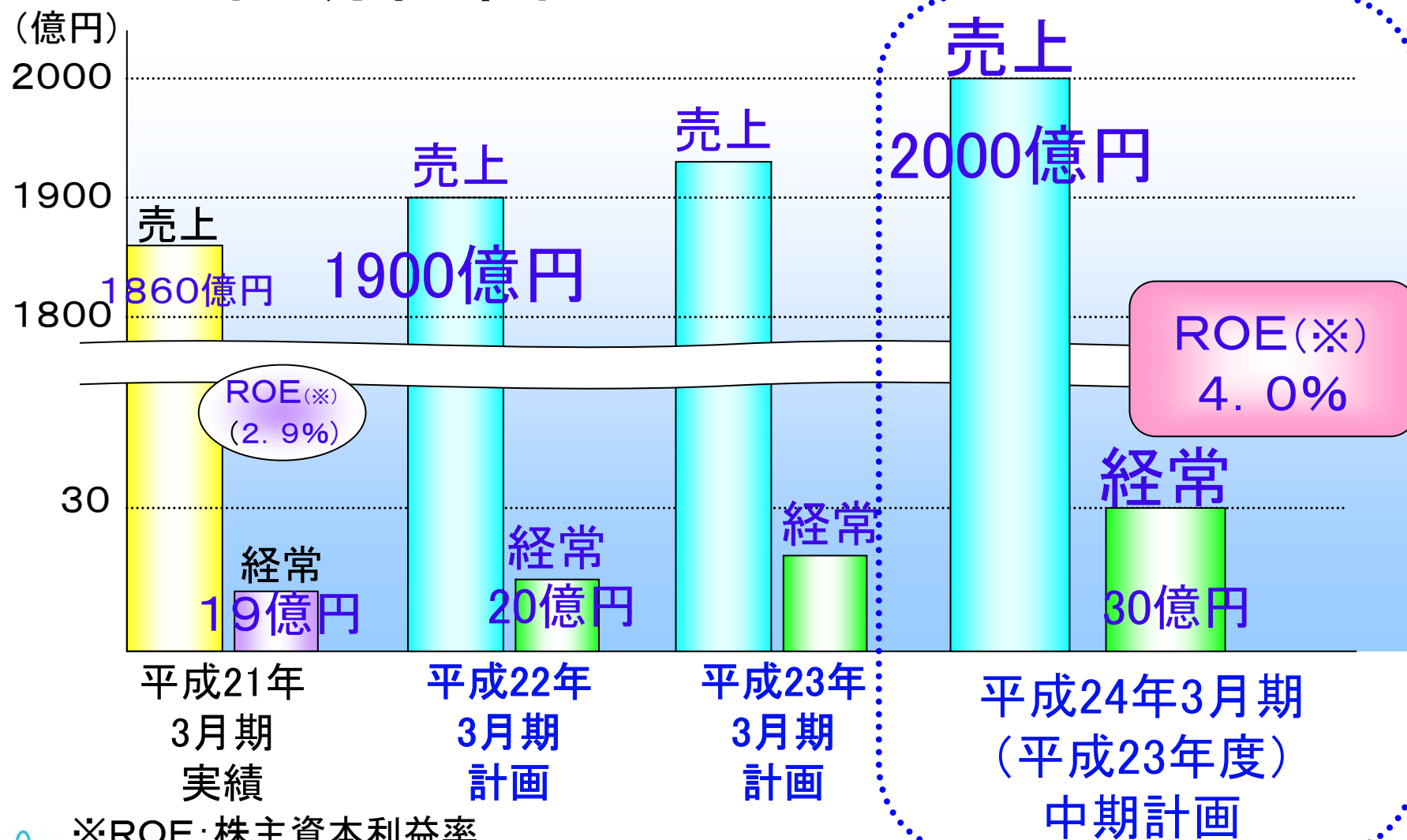


※CDC(アメリカ疾病予防管理センター)ホームページより

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

➤ 目標とする経営指数

中期経営計画(平成24年3月期)



※ROE: 株主資本利益率

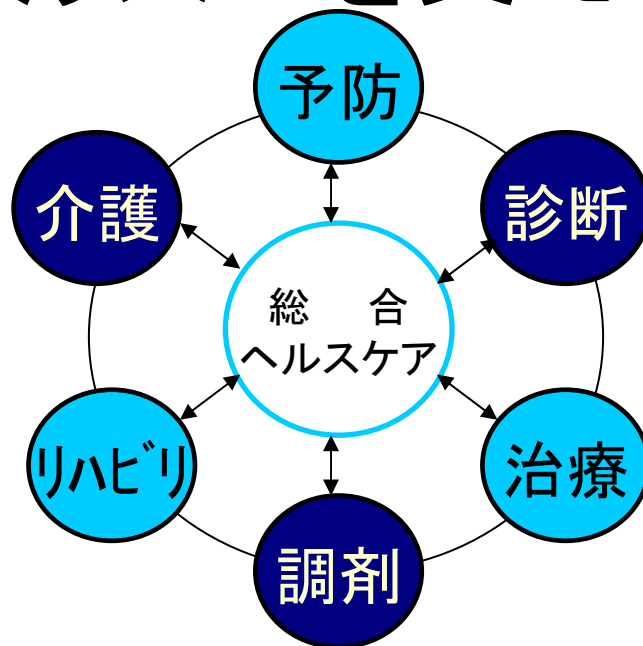


株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

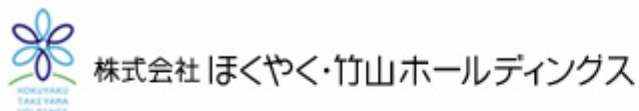
➤ 経営の基本方針

＜基本理念＞

北海道に根ざした
総合ヘルスケア企業グループとして
健康を願う人々を支えつづけます



当社ホームページに、
最新のIR情報を掲載しています。
<http://www.hokutake.co.jp>



[サイトマップ](#) [お問い合わせ](#)

いのち、かがやけ
あすの「元気」を支えるチカラ
北海道に根ざした
総合ヘルスケア企業グループとして
健康を願う人々を支えつづけます

● 企業情報 ● グループ概要 ● IR情報 ● 採用情報 ● ニュースリリース



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

将来見通しに関わる記述についての注意事項

本プレゼンで記述されている当社の将来の計画・戦略・業績予想などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市場環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これらの見通しのみにより全面的に依拠することは避けていただきますようお願いいたします。

また、本プレゼンに記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。

投資に関するご判断は、ご自身にてなさいますようお願いいたします。



ご清聴ありがとうございました

